|  |
| --- |
| ３　小学校　中・高学年 |
| 安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～ |
| 指導する学年 | 中学年高学年 | 指導場面 | 特別活動（学級活動） | 指導する時数 | １時間 |
| 本時のねらい | 危険（犯罪）を予測し、起こりうる犯罪から身を守る方法等を考えるとともに、危険な場面を想定し、危険を回避する行動を実践することができる。 |
| 使用する資料 | 文部科学省ＤＶＤ「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」（平成25年） | 基本的な指導内容 |
| ２ 犯罪被害にあわないために ３ 家族で守る安全 ４ 地域社会の一員として |
| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
| **導　入**１．ＤＶＤ「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」を視聴する。生活安全（防犯）低学年・中学年・高学年※ケース⑥まで視聴（前半　約6分）ケース①声をかけられるケース②つきまとわれるケース③写真を撮られるケース④いやなことをされるケース⑤暴力を受けるケース⑥つれさられそうになる危険から、自分の身を守るためにはどうしたらよいでしょう？**展　開**２．ＤＶＤの事例をもとに危険を予測し、回避する対処方法を考える。・どうしたらこういったことから身を守れるのかワークシートに個人で記入する。ケース①声をかけられるケース②つきまとわれるケース③写真を撮られるケース④いやなことをされるケース⑤暴力を受けるケース⑥つれさられそうになる３．個人で考えたことを班で話し合い解決方法を考え発表し、よりよい身の守り方を考える。・断る　・無視する・大声を出して逃げる・防犯ブザー・店やこども110番の店に逃げ込む・入りやすく見えにくい場所では気を付ける　等**まとめ**４．ＤＶＤの後半を自分たちの意見と比較しながら視聴する。（後半約7分）・ケース⑥までの解決編を視聴する。５． 学習したことを振り返り、危険な場面に直面したときにどのように行動すればよいか確認する。・記入したことを発表する日頃から、危険を予測し、入りやすく見えにくい場所を回避することが大切であることを理解する。≪一口メモ≫＊事前指導…朝の会、帰りの会等で不審者情報を児童に伝える。＊事後指導…授業後の児童の危険を回避する行動化について朝の会、帰りの会等で見取っていく。※ＤＶＤ「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」（文部科学省）平成25年3月に小学校に配布※高知県警察ホームページ　こうちのまもり<http://www.police.pref.kochi.lg.jp/index.htm>高知県の不審者情報をはじめ、様々な防犯の情報が得られます。 | ○本時の内容について理解させ、真剣な態度で臨む意識を持たせる。※ケース⑥以降（後半）は全てのケースの対処法になっているため、児童で解決方法を考えた後に視聴○ＤＶＤの内容が特別なことではないことに気付かせるために高知県警察ホームページ「こうちのまもり」から県内（地域）の不審者情報等を児童に紹介することで、より自分の身近で起こる可能性があることを意識させる。○身近に起こるかもしれない危険を予測する力とその危険を回避する望ましい解決方法に気付くよう支援する。○各班から出た解決方法の共通点や相違点、疑問点など気の付くことを出させ、よりよい身の守り方をみんなで考えさせる。**いか**…知らない人にはついて「**いか**」ない。 **の**…知らない人の車に「**の**」らない。 **お**…危ないと思ったら「**お**」おきな声を出す。 **す**…危ないと思ったらその場から「**す**」ぐ逃げる。**し**…何かあったらすぐ大人の人に「**し**」らせる。**評　価**○自分の身を守るためにこれからどんなことに気を付けていけばよいのか自分の考えを書くことができているか。　（ワークシート） |
| 関連する教科・行事等 | 朝の会、帰りの会 |